



八中だより

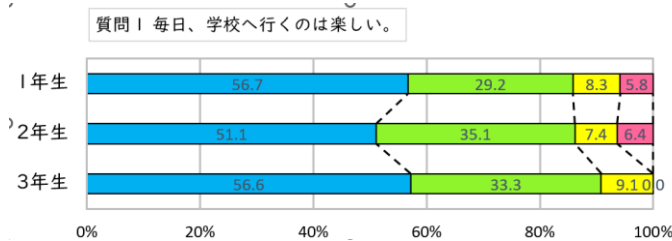


令和7年9月16日 9月号
調布市立第八中学校
校長 馬場 誠

HP : <http://www.chofu-schools.jp/chofu8/>

2学期のポイントは Agency (エージェンシー) を高めること

校長 馬場 誠



長い夏休みを終えて新しい学期が始まりました。生徒たちは変わらず元気な姿を見せ、これからの学校生活に向けてがんばろうとしている様子をうかがうことができました。さらなる活躍に期待しています。

さて、上のグラフは7月に行った学校評価（生徒用）の結果です。「学校に行くのが楽しいですか」という質問に過半数の生徒が「そう思う」と答え、「まあそう思う」と合わせると8～9割が楽しいと答えています。昨年度の結果と比べると、「そう思う」の回答が3年生で11.4%、2年生で5.6%も伸びていました。

また、顕著な伸びを示したのが、「決まりを守って規律ある生活をしている」「クラスでは、安心して自分の意見を言え、自分らしさが出せる」「悩みや不安の相談に乗ってくれるカウンセラーがいる」「クロムブックなどの ICT 機器は、学習に役立つよう効果的に使っていると思う」などの項目で、特に3年生ではいずれも約10%の伸び率を示しました。

教室にいる生徒たちを見ても、授業に集中し仲間と協力し合う場面が多く、学校生活を充実させていることが感じられます。

良いことばかりを挙げたらきりがありませんが、一方で、上のグラフを見てもわかる通り、1割以上の生徒が学校生活を楽しくしていないという状況があります。また、別の調査によると、「主体的な学習の調整力（自ら学び方を考え工夫する力）」が都の平均と比べ低いという結果が出ています。これらの背景には、生徒たちに「やらされ感」「指示待ち」「受け身」といったネガティブな感覚が根付いているのではないかと危惧しています。

こういった感覚に立ち向かうのが「Agency（主体性）」です。居心地向上プロジェクトでは、この Agency を高めることが一つのポイントと言われています。つまり、自分が学校運営に直接参画しているという主体的な感覚が、学校を住みよい場所に感じることにつながるという理論です。これは学習にも通じることではないでしょうか。人に言われたから、ではなく、自分事として向き合うことで力を伸ばす——この Agency の向上を2学期は目標にしてほしいと思います。

「今月の四字熟語」校長室前に掲示しています

月に1回、全校朝礼が開かれますが、そこでは毎回、校長の話として四字熟語を一つ取り上げ、それにまつわるお話をしています。取り上げる四字熟語は今年も石井花鈴さん（石井先生のお嬢様）に立派な毛筆で書いていただきました。校長講話は下の HP に掲載してあります。ご覧ください。

<https://www.chofu-schools.jp/chofu8/keiei/2023-0726-1313-64.html>

